

施工要領書 (重要)

「ノン結露」は下塗り材 7kg 仕上げ塗り材 15kg 2種類の塗り材を1単位として出荷しております。
この1出荷単位で、通常の結露発生面ですと「20 m²の面積に塗布」すれば十分に効果を発揮します。
但し、冷蔵庫、冷凍庫の周辺、冷水管等結露発生の激しい場 10～15 m²の面積で使い切ってください。
(吸水発散層が厚いほど保水量が増加します)
疑問の点があれば、必ず施工前にお問合せ下さい。

〈特記事項〉

本塗料は塗装乾燥後でも塗膜表面はやや柔らかいので、塗膜に傷をつけないように取扱には注意が必要です。

使用可能期間 納品後 3ヶ月で使い切ってください。

下準備(重要)

塗装面が結露雰囲気(環境)にある場合、塗装できません。

『施工時期が結露発生時期』で、更に『現時点で結露が発生している場所』にはノン結露を塗布しても効果は期待できません。

(結露あるいは水分を含んだ所に塗装すると剥離します)

結露が発生しないような環境時に、結露が発生する場所・部分に直接施工して下さい。

又、塗装後約 30 日間程は結露しない環境保持が重要ですから、塗装時期について十分ご留意下さい。
塗装面を送風機等で乾燥させて塗装作業に移して下さい。

①塗装具

刷毛、ローラー、エアガン、エアレスガン、温風低圧塗装機で塗装できます。

②攪拌

電動攪拌機(大きい羽)にて下塗り材、仕上げ塗り材それぞれ十分に攪拌して下さい。(約4分)

(吸湿材、熱反射材、防水材が分離していますので必ず行って下さい)



③乾燥

乾燥時間は厳密に守ってください。

乾燥時間が不足すると剥離や結露防止効果が期待できない場合があります。

④金属面塗装(塗装面積 20 m²)

下地調整 錆び汚れを良く落とし水洗いし素材にあったプライマーにて下地処理を行う

推奨下地材 鉄部/1液速乾エポキシ変性錆止め塗料

非鉄金属、ガラス、PP/ニュー密着バインダーK(メグロ化学)

下塗り ハン結露下塗り材を 0.2mm×2 回塗装 (0.175kg×2 回/m²)

乾燥時間は 2 回とも各 4 時間(20℃)

仕上げ塗り ハン結露上塗り材を 0.8mm 以上(3 回分割塗り)塗装 (0.25kg×3 回/m²)

乾燥時間は 3 回とも各 20 時間(20℃)

⑤木部、コンクリート、セメント面塗装(塗装面積 20 m²)

下地調整 汚れを良く落とし水洗いをする。(その後十分に乾燥させて下さい)

下塗り ハン結露下塗り材を 0.2mm×2 回塗装 (0.175kg×2 回/m²)

乾燥時間は 2 回とも各 4 時間(20℃)

仕上げ塗り ハン結露上塗り材を 0.8mm 以上(3 回分割塗り)塗装 (0.25kg×3 回/m²)

乾燥時間は 3 回とも各 20 時間(20℃)

⑥着色 『ハン結露』の仕上げ塗り材は着色材にて好みの色に着色できます。

(ただし吸湿材が白色セラミックの為、白を基調にした色です)

下塗り材は着色できません。

推奨着色材

水性アクリル塗料(大日本塗料製ハイライト)

⑦塗装面構造 『ハン結露』は防水熱反射層(下塗り材)と吸水発散層(仕上げ塗り材)の 2 層にて構成されます。

防水熱反射層が構造体からの水分の影響を遮断し、空気中の熱を反射して吸水発散層の温度を上昇させ、吸収した水分を速やかに空气中に再放出します。

⑧希釈 ハン結露は水性です。

塗布しにくい場合は希釈剤として上水を足し、施工しやすい濃度にして下さい。

希釈率の目安: 下塗り材 刷毛・ローラー :0~750cc/7kg 缶

ガン吹き :0~1,000cc/7kg 缶

仕上げ材 刷毛・ローラー :0~1,500cc/15kg 缶

ガン吹き :0~3,000cc/15kg 缶

※希釈しても、塗布量は規定面積で使用して下さい。